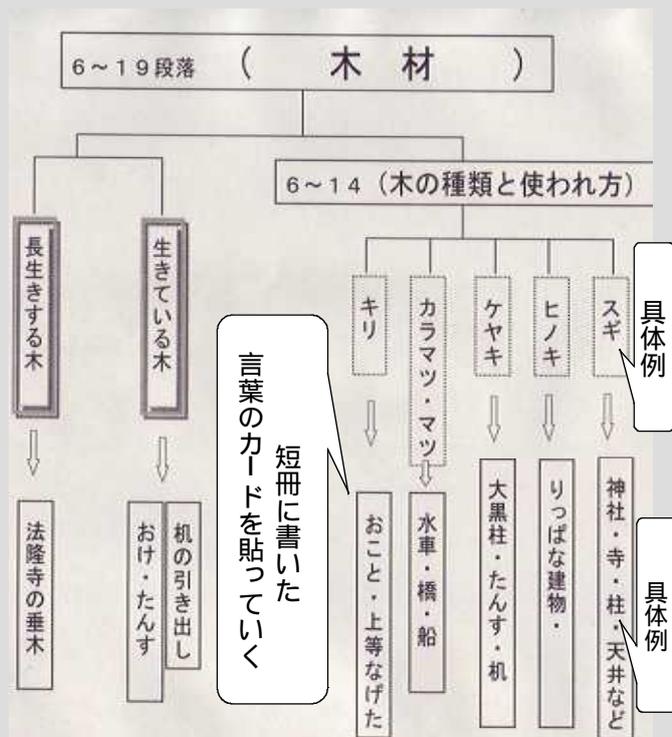


森林のおくりもの 富山和子

SOS! 地球の緑を守れ!
筆者の工夫を取り入れながら、
調べたことを意見文にまとめよう

めあて

一つ目の森林のおくりものを読み取り、
筆者の述べ方の工夫をさぐる



「垂木は、あと千年以上は生き続ける」

《工夫》 具体例を多く挙げると、分かりやすい
人の言葉を引用すると説得力がある

4 / 15 時間目 指導略案 ワークシート

活動のねらい

一つ目の「森林のおくりもの」を読み取り、筆者の述べ方の工夫を見つける
ことが出来るようにする。

1 本時のめあてを確認する。

2 形式段落(6~19)を読み、木材としてのおくりものについてまとめる。

本時のめあてを意識しながら、本文を読む。

「おくりもの」を付せんに書き出し、つながりを考えてワークシート上に整理する。

(発問)「木材」としてのおくりものを付せん紙に書き出し、それらの言葉のつながりを考えて配置し、線でつなぎましよう。

考えをペアで対話する。

全体で確認しながら、ワークシートに整理する。

「森林の種類」と「使われ方」に分けて整理させる。

3 筆者の述べ方の工夫について気付いたことを話し合う。

(発問)一つ目のおくりものを読み手に伝えるために、筆者はどのような述べ方の工夫をしているでしょう。

- ・ 具体例を多く挙げると、分かりやすい
- ・ 人の言葉を引用すると説得力がある

【評価】 叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交換しながら
筆者の主張や表現の工夫について読み取っている。

4 学習を振り返り、めあてについて自己評価する。